

2026年 新年号



放射線科だより

新年あけましておめでとうございます！今年もよろしくお願いいたします。
南大阪病院 放射線科だよりの第2号です。
今回はMRIを受けるにあたっての注意点を紹介します。

MRI検査とは

前月号でご紹介したCT検査ではエックス線を使い、体を通り抜けるエックス線の量の差によって画像を作成します。

対してMRI検査は放射線を使わずに、強力な磁石を使って検査をします。このため、MRI検査では、放射線被ばくがありません。

しかし、この強い磁場の中では、思いもよらない現象が起こるので、注意が必要です。

当院のMRI装置です
Canon社製の装置を
使用しております



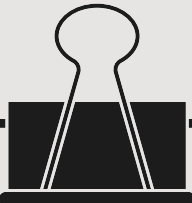
このMRI装置で撮像できる画像を少し紹介します。



膝の画像
靱帯・骨折など
確認できる！

脳の血管
造影剤なしで
撮像できる！





MRI検査における主な注意事項

MRIは磁性体（磁石がくっつく金属）を検査室に持ち込めません。
検査室に持って入れないとしても、こう思うことはありませんか？



頭の検査だから
ポケットの鍵や財布は
大丈夫...？

実は
ダメなんです！



たとえばCT検査は検査部位にエックス線をあてるので、検査部位以外に金属などがついていても問題にならないことが多いです。

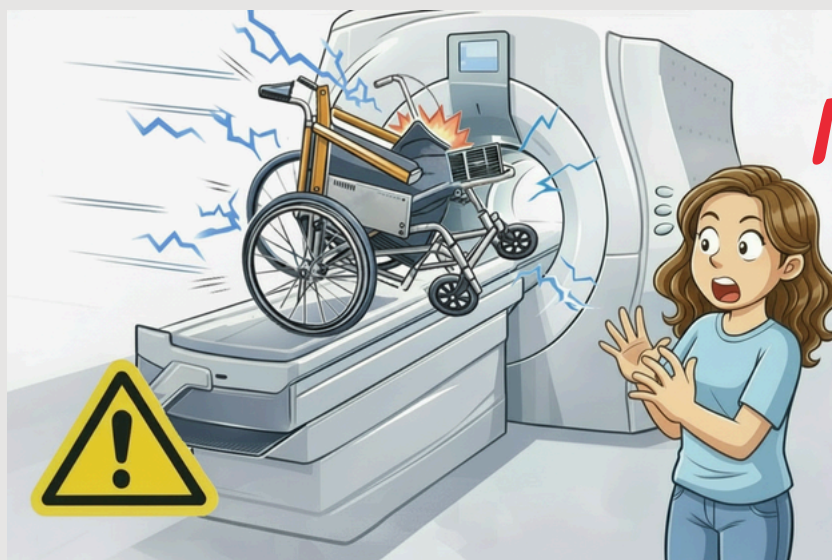
しかし、MRIは検査室全体に強力な磁力が発生しているので、検査部位以外でも磁石に反応します。そのため磁性体はすべて持ち込めません。

当院のMRI装置は3T（テスラ）という磁力の強さで、これは車さえも簡単に持ち上がるほどの力です。

そのため、非磁性体の車いすやストレッチャーを準備しています。

もし誤って磁性体を持ち込んでしまうと...

MRI装置に向かって金属が飛んでいってしまい、事故に繋がります。





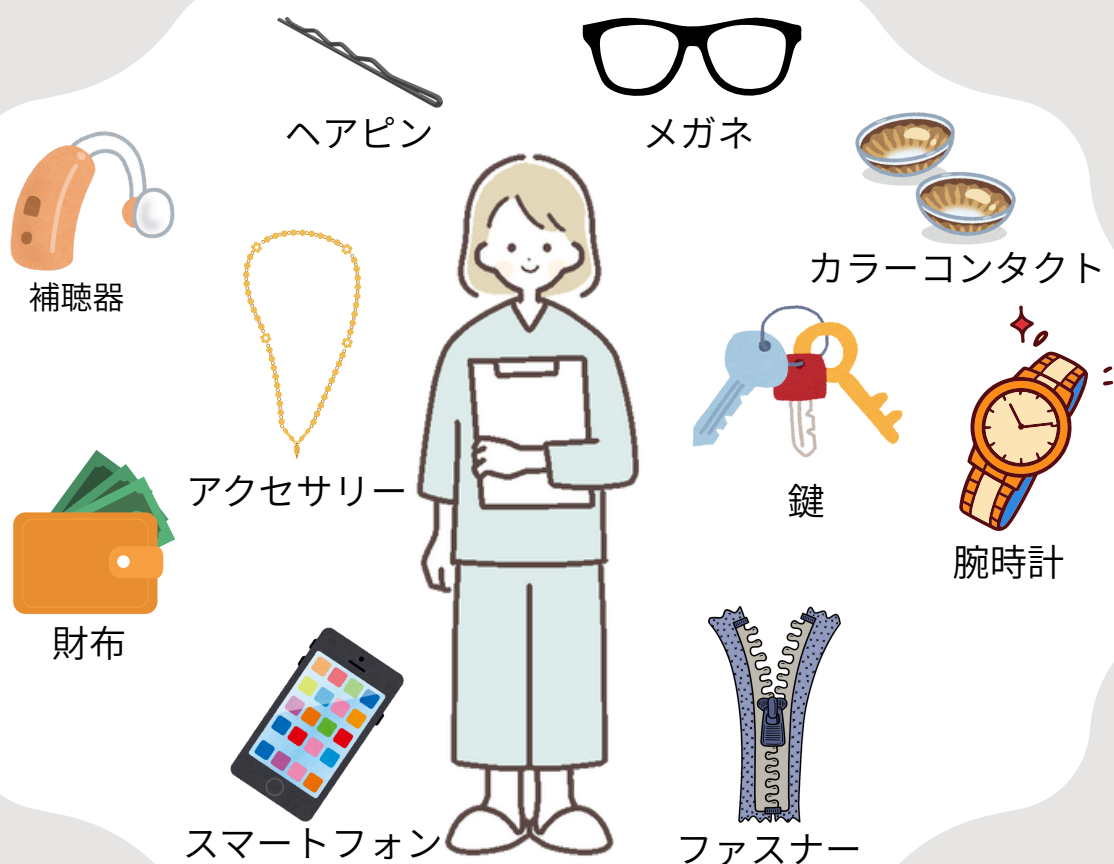
MRI検査前の確認

★次の方は、検査が受けられません。

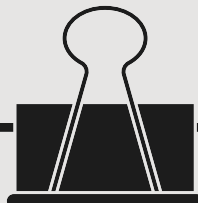
- ・心臓ペースメーカー（MRI対応の場合は要相談の上、検査施行）
- ・人工内耳など体内に機器類を埋め込んでいる方
- ・VPシャント
- ・妊娠中の方
- ・閉所恐怖症の方

★MRI室に入る前に外していただくもの

ヘアピン・メガネ・入れ歯・補聴器・カラーコンタクト・カツラ
金属のついた衣類（ファスナー・ベルト・コルセット・ブラジャー）
貼り薬（湿布・ニトロダームなど）・カイロ・エレキバン
鍵・腕時計・携帯電話等の電子機器・財布・磁気カード・アクセサリー



✧安全に検査を行うために、金属類がついていなくても
✧お着替えをお願いすることがあります。



問診票の説明

検査前に必ず記入していただく問診票の内容を少しご説明します。

○身長・体重

✓ 身長・体重で体に当たる電波量が決まります。

○体内に心臓ペースメーカー（心内電極）がありますか？

✓ MRI対応ペースメーカーもありますが
✓ 当院では事前に機材の準備が必要です。

○脳動脈瘤・クモ膜下出血・水頭症の手術をしたことがありますか？

MRI検査が可能な製品だと確認できれば、問題なく検査ができます。

✓ しかし2000年以前に行われた手術の場合や、金属の製品確認ができない場合は検査ができません。

○体内に手術やケガによる金属がありますか？

✓ 金属はやけどの可能性や体内で動いてしまい、危険な場合があります。
✓ 金属の製品確認が必要なこともあります。

○皮膚への装飾物（刺青や特殊なメイク）がありますか？

✓ タトゥーやアートメイクのインクに金属成分が含まれている可能性があります。
✓ 金属成分が含まれていると、火傷のリスクがあります。
✓ 現在、当院でそういった事例はありませんが、熱く感じたらブザーで知らせてください。

○コンタクトレンズは着用していますか？

✓ カラーコンタクトは材質に金属が使われている場合があります。

○補聴器は装着していますか？

✓ 故障します。必ず外して下さい。

MRI検査は、磁気を使用する特殊な検査です。

★ 安全に検査を進めるためにも、問診票などで確認させていただきます。
ご不明な点がございましたら、スタッフにお尋ねください。

景岳会南大阪病院 放射線科

病院HP

〒559-0012

大阪府大阪市住之江区

東加賀屋1-18-18

TEL 06-6685-0221

FAX 06-6685-5208

